

(令和5年6月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	6月は梅雨前線の活発化により広い範囲で大雨が発生したが大きな被害はなく、また、品目による単価の上下は見受けられたものの、総入荷量及び総取扱金額は前年同月並みであった。 今後は、月前半の多雨と後半からの高温が生育に影響し、不安定な入荷となることが懸念される。 7月は、野菜では、枝豆やとうもろこしの入荷が増える。果実では、すいかや桃が最盛期を迎え、巨峰等の入荷が始まる。
野 菜	野菜全般の入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。 根菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は6%下回った。 葉菜類の入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。 果菜類の入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は4%上回った。 土物類の入荷量は前年同月並みであったが、単価はたまねぎ等が高値で推移した前年同月と比べて15%下回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月並みであったが、単価は入荷減となった品目が高値で推移したため10%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で35%下回り、単価は42%上回った。 りんご類の入荷量は王林やシナノゴールドの入荷が多かったため前年同月比で20%上回ったが、単価は前年同月並みであった。 桜桃類の入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。 メロン類の入荷量は前年同月比で16%上回り、単価は6%下回った。 すいか類の入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は3%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	青森、北海道を中心に千葉、滋賀、和歌山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３％下回ったが、単価は量販店での動きが鈍かったため１４％下回った。
西洋にんじん	長崎、和歌山を中心に徳島、兵庫、熊本などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は３％上回った。
【葉菜類】 はくさい	長野を中心に茨城、群馬、福岡、山梨などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１６％上回り、単価は１１％下回った。
キャベツ	茨城を中心に京都、群馬、愛知、長野などからも入荷した。入荷量は前年同月比で６％下回り、単価は１７％上回った。
ほうれんそう	岐阜を中心に茨城、福岡、滋賀、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で８％上回ったが、単価は６％上回った。
レタス	長野を中心に山梨、滋賀、群馬、京都などからも入荷した。入荷量は天候不順の影響により前年同月比で７％下回ったが、単価は需要が低かったため１４％下回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎、滋賀、福岡、高知、京都などから入荷した。入荷量は前年同月比で９％下回り、単価は４４％上回った。
なす	高知を中心に岡山、京都、徳島、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１５％下回り、単価は２０％上回った。

とまと	熊本を中心に北海道、福岡、京都、三重などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３％上回り、単価は６％下回った。
ピーマン	大分を中心に宮崎、茨城、高知、韓国などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３％下回り、単価は２６％上回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メークイン含む)	長崎を中心に熊本、北海道、静岡、茨城などからも入荷した。入荷量は前年比で１４％下回り、単価は２１％上回った。
たまねぎ	兵庫を中心に滋賀、京都、長崎、佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で４％上回り、単価は５２％下回った。
【その他野菜】	
青梅	和歌山を中心に福井、奈良、大分、京都から入荷した。入荷量は中旬以降に減少したため前年同月比で９％下回ったが、単価は需要が低かったため１５％下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	長崎を中心に和歌山、佐賀、大分から入荷した。入荷量は前年同月比で４％下回ったが、単価は前年同月並みであった。
富士 (サン富士含む)	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で２８％下回り、単価は９％上回った。
桜桃	アメリカ、山形、山梨、北海道から入荷した。入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。
アールスメロン	静岡、京都、高知、熊本から入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は３％下回った。
大玉すいか	鳥取を中心に熊本、石川、長崎、北海道からも入荷した。入荷量は前年同月比で１６％下回り、単価は４％上回った。